

木のある暮らし応援企業



株式
会社

マルオカ

会社案内

Maruoka

WOOD BUILDING
NETWORK

ウッドビルディング
ネットワーク
WBNコールセンター

相談窓口担当／佐藤 E-mail : wbn@maru-oka.jp

TEL : 026-243-1218 FAX : 026-243-1251

木のある暮らし応援企業



株式
会社

マルオカ

経営理念

私たちは、木のある暮らしづくりの
ベストパートナーとして
地域になくてはならない
笑顔あふれる企業を目指します。

社是

私たちは、

お客様の信頼に応えること
を働き甲斐とします。

私たちは、

わくわくする様な
より良い住生活を
提供し地域社会に
貢献します。

私たちは、

社員の笑顔と創造力を
成長の原動力とします。

私たちは、

社員及び関連する
人々の豊かな生活を
目指します。

私たちは、

パートナー様と共に木材資源の
循環を通し環境に貢献します。

経営理念に込めた思い。笑顔を成長の原動力に。

マ ルオカは、おかげさまをもちまして、令和4年に会社創業70周年を迎えました。これもひとえに、皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。社名の冠にあるコーポレートメッセージ「木のある暮らし応援企業」は、マルオカという会社が材木店から始まり、木材を通してお客様との信頼関係を今日まで築いてきたことが背景にあります。これからも、循環型資材としての木材の素晴らしさを後世まで伝え、その普及に邁進します。皆様の暮らしと、それを支える協力会社様、関連企業様と共に成長するという思いを、持ち続けます。

我が社の経営理念は、社としてこうありたい、という「夢のレベル」を表現しています。これからも企業として成長していくために、社員全員が共有している不変の価値観です。コロナ禍が起きたような、先の見通しがわからない混沌とした時代にあっても、経営の道筋、土台として、また事業戦略、事業活動の求心力として、さらには日々の職務において、何を目的として、何を目指しているのかの指針として。私たちが目指す自社のあるべき姿として、またマルオカの存在意義として、明文化したものです。

この経営理念の冒頭にある「私たち」は、マルオカで働く全員を示します。そして「木のある暮らしづくりの」は、私たちの仕事の領域や範囲を表しています。我が社の商品アイテムは、木造プレカット躯体、木材、建材、設備、サッシ、外壁工事等です。その中で主力である木質資材は、従来から手掛ける木造の新築住宅、店舗や学校等の木造の非住宅の建築物に留まらず、鉄骨、RCの構造についても、納材することを進めております。今後は、独自の木材商品の開発、地域の木材産業への関与を深め、お客様のご要望に対応するため、その範囲を広げ、イノベーションに挑戦します。



昭和30年代当時の製材工場

そ して、私たちはお客様の「ベストパートナー」としてあり続けるために、日々の努力を惜しみません。まず、日頃から直接お取引いただく工務店様、建設会社様にとってのベストパートナーであるために、その先にあるお施主様や事業主様のことに思いを致し、それぞれの皆様の信頼に応えるため、「お役立ち機能」をさらに進化させていく所存です。

さらには、木材を製品化する製材所、お互いが協力し合うプレカット工場の皆様、中大規模木造や工事請負の場面でパートナーとして協業する工務店、建設会社、設計事業者の皆様、商社、問屋の流通事業の皆様も、私たちの大切なお客様です。加えて、地域の異業種企業の皆様との関係構築も積極的に推進し、そうした皆様と地域で協力し合うネットワークを形成することを目指していきます。その中で、お互いのwin-winとなる仕事を創造し、各社の役割分担を明確にして実行に移し、目標達成に導くこと、それぞれを繋ぐことが、「ベストパートナー」としての私たちの役割と考えるのです。

「地域になくってはならない」ということは、地域社会と環境に貢献する企業活動を意味します。木材資源は「伐って・使って・植えて・育てる」再生可能な、貴重な循環型資源です。木材資源を基軸に、地域に「わくわくする様な住空間」を提供することで、温暖化ガスのCO2を固定する、木材資源の好環境が生み出されます。これは、世の中が求めるSDGsの課題解決の根幹となる部分です。

結びの「笑顔あふれる企業を目指します」、における「笑顔」の言葉には、多くの思いが込められています。先ず、地域になくってはならない企業としてあり続けるためにも、利益を出し続けることが必要となります。その源泉となるのは、私たちの「お役立ち」と「自らの生産性向上」と捉えています。

マルオカの主役は私たち社員です。社員がやりがいを感じる、仕事が好きになれる環境をともに作り上げていきたいと思えます。このマインドが企業組織の生産性向上には不可欠であると考えます。そして、重ねた努力が成果となり、評価された時、心からの笑顔が現れます。それがたとえ空振りに終わったとしても、再挑戦できる環境を持つ企業でなくてはなりません。事業成果によって利益の適正配分を行い、社員の皆様の豊かな生活を目指します。こうして醸成された組織の風土が「笑顔」となり、マルオカの成長の原動力なのです。

住宅資材の総合商社

木材小売業から始まったマルオカの歴史。創業から70年、より良いものを、より速く、安全に、納得の価格で提供することに努め、木のある暮らしを応援するモットーを貫き、県内最大手の住宅建設資材商社に成長することができました。

お客様のご要望にお応えするのはもちろん、一歩先を行くニーズを探り、いち早く木材のプレカット工場を完備しました。木材はもとより建材、住設機器、外壁、サッシなど建築に必要な多種多様な商品に精通し、手配から加工、納品までワンストップで請け負えるのが大きな強みです。

単に受注商品を納めるのではなく、お客様に付加価値をもたらす「お役立ち」をプラスできることこそ、木のある暮らしづくりのベストパートナーとして信頼を得てきたマルオカの自信と誇り。直接のお客様である建設会社様、工務店様はもちろん、エンドユーザーである施主様、事業主様から「マルオカに任せれば安心」と評されるよう、木のある暮らしづくり、街づくりに貢献してまいります。

規模と技術を誇る 木造プレカット

進化する木造プレカットCAD・CAMのシステムに加え、木材業を原点とするマルオカは、材の選定や機械オペレーション、人の目と手によるチェックと判断も欠かしません。

使用する木材は一本一本品質チェックをしてから加工。完成した部材は一軒ごとにまとめられ、日焼けを防ぐためにUVカットフィルム等で包装・保管して出荷。こうしたプロセスのいたるところに木材と木造建築を熟知する、マルオカならではのノウハウが活かされています。

日々研鑽と努力を重ねる現場が、事業の源泉です。今後も「お役立ち」を念頭に、木造プレカットにイノベーションを生み出せる生産組織を目指してまいります。

取り扱い住宅資材



木材

長年、木に携わってきた材木店としてのDNAは脈々と現在まで受け継がれ、木材の選定から加工・保管・運搬に至るまで随所に活かされています。



建材・住設

お客様が求める理想の暮らしづくりのために、あらゆるメーカーの建材・住設をラインアップしています。



サッシ・断熱・その他

冬は暖かく、夏は涼しい。肌で感じる快適さだけでなく、目に見えない安全や健康にも配慮したサッシ・断熱材等をご提案いたします。

プレカットの技術



横架材加工

梁、桁、土台などの横架材加工についても、工法にかかわらず柔軟に対応して加工いたします。



柱加工

設計図をもとに入力されたデータに沿って、厳密にカットし、正確さと精緻さが要求される先端のホゾ部分なども効率良くスピーディーに仕上げます。



羽柄材加工

垂木、間柱、筋交いなど比較的細いものだからこそ長さや角度など、すべてに精緻な加工を施します。



合板加工

設計図から読み取ったそれぞれの床や屋根の形状に合わせ、直線はもちろん、斜めカットや変形加工も正確に行います。

需要が高まる中大規模木造建築物への取り組み

平成22年に成立し、令和3年改正の「公共建築物等木材利用促進法」は、公共建築物のみならず、民間建築物の木造化・木質化を推進する強力な追い風となっています。

現在は学校をはじめ、図書館、高齢者施設など公共建築物にとどまらず、民間の中大規模木造建築物が全国各地に誕生。木造ならではの見た目の美しさや温もり、安らぎや癒しなど五感に訴える優れた居住性が改めて認知され、評価と需要のアップに繋がったのは周知の事実です。

それまで耐火性・耐震性等の観点から、ともすると敬遠されがちだった木材、木造。しかしながら、様々な技術革新によってそれらのデメリットを払拭する素材や工法が開発され、安全基準をクリアするに至っています。

脱炭素社会の実現を目指し、国が率先して木材利用に取り組むことで、今後ますます中大規模木造建築が普及することは確実視されています。環境に大きく貢献できる、新たな成長産業として期待が高まっています。

時代の流れをいち早く読み、マルオカは中大規模木造プレカット技術協会に加盟。中大規模建築にも対応できる木材プレカットを積極的に受注しています。さらに、工務店様や設計事務所様と連携して中大規模木造建築の普及に努める一方、個別の物件の技術サポートにも真摯に取り組んでいます。



令和元年5月に、一般流通材を用いた3階建ての木造事務所に建て替えた埼玉営業所

瑕疵保険・住宅補助

国土交通大臣指定の住宅瑕疵担保責任保険法人・住宅あんしん保証の取次店も営んでいます。「あんしん住宅瑕疵保険」の他にも、リフォーム向け等、ケースに応じてお勧めしています。

また、住宅金融支援機構の住宅ローン「フラット35」や、グリーン化事業、すまい給付金等も対応。ご相談から登録手続きまで、プロの目を持つマルオカにお任せください。



外壁・サッシ 建て方事業

建築施工のサポートにも積極的に取り組んでいます。一例としては、20年ほど前から請け負っている外壁工事。工務店様からの依頼を受け、外壁材の仕入れから職人の手配、現場の作業に至るまで責任を持って行っています。

またサッシの組み立てから取り付け工事においても施工実績を伸ばしているほか、職人不足に対応するために、建て方事業にも取り組んでまいります。



設計・積算対応

実際の経験から生まれた情報は、いのちを持っています。いのちを持った情報を、提供する資材やサービスに反映させることで、高度に幅広くニーズに対応することを可能にしました。

すでに、設計・施工体験を通じて蓄積したノウハウが生きたお客さまサポートを実施しており、高い評価をいただいています。また、ご要望にお応えし、建築資材の積算業務にも取り組んでまいります。



県下最大級の住まいづくり情報発信イベント開催

平成24年に長野市ビッグハットで第1回を開催し、第5回以降はエムウェーブに場所を移して、毎年1回開催しています。マルオカが主催となり、企画運営、事務局を担います。全社員がスタッフとなって総力を結集し、作り上げる手作りのイベントです。

出展工務店、住設建材メーカー、地元企業団体等の出展社100社以上、2日間のご来場者は過去最大で約1万7000人が訪れる、県下最大級の住まいづくりの情報発信イベントに成長して参りました。

このイベントの大きな目的は、木のある暮らしづくりを通して、お客様のお仕事を創出することにあります。「信州・住まいのわくわくフェア」に大勢のご来場者をお迎えすることで、出展工務店様のお仕事につながる場を提供しています。新築、リフォームの潜在需要を顕在化させ、地元工務店様のお仕事に結びつくこと、引いては地域の活性化につながり、地域社会への貢献となることを信じて開催し続けています。



平成24年に第1回のフェアを開催



令和元年開催時は2日間で延べ約1万7000人程が訪れるイベントに成長

WOOD BUILDING SHOW (ウッド・ビルディング・ショー) 中大規模木造建築の展示会

平成22年に「公共建築物等木材利用促進法」が施行され、さらに建築物への木材利用に向けた建築基準の合理化を進めるため、平成26年、28年に度重なる建築基準法の改正がなされました。しかし、国土交通省の「建築着工統計調査平成31年」によると、中大規模木造建築物および非住宅建築の木造率はいまだ低いまです。

日本では建築物の木造率は住宅分野で高く、新設住宅着工戸数の大多数が木造ですが、新設住宅着工戸数には減少傾向が見られます。このため、林業・木材産業の成長を実現していくためには、「中高層分野及び非住宅分野の木造化」や「内外装の木質化」を進め、新たな木材需要を創出することが極めて重要です。

(林野庁「令和元年度 森林・林業白書」より)

中大規模の木造建築物を促進するための課題として、建築コストの側面、地域材を活用及び調達、建築物の木構造の実務、内装等の木質化に関する十分な知識修得、情報取得の場面が少ない点等が挙げられます。これらの課題に対して、リアル展示会を開催し、マルオカを窓口にしたウッド・ビルディングネットワークの活用、木造に関わる多面的な知識、情報の共有を実行し、中大規模木造建築物の分野の拡大に努めます。

中大規模 木造建築 総合展示会



2022年7月1日 金
(長野市)
建設会社・設計事務所・
行政関係者向け 限定イベント
入場無料



WOOD BUILDING SHOW

午前の部 AM 9:30 ~
坂 茂 先生
先着 200名様 限定

in エムウェーブ
事前予約制

午後の部 PM 2:00 ~
稲山 止弘 先生
先着 200名様 限定

中大規模木造建築 セミナー




坂茂建築設計事務所、静岡県富士山世界遺産センター 写真、写真提供

ホルツストラ建築設計、シネマテック株式会社 新社様

■ セミナーのテーマ
「未定」決定次第 裏面のQR申込HPより発信いたします。
坂 茂 先生 略歴
慶應義塾大学理工学部教授、国内外のさまざまな建築賞を受賞、坂茂建築設計事務所代表

■ セミナーのテーマ
「未定」決定次第 裏面のQR申込HPより発信いたします。
稲山 止弘 先生 略歴
東京大学大学院農学生命科学研究科教授、国内のさまざまな建築賞を受賞、ホルツストラ主催

信州ウッドビルディングショー実行委員会
事務局
長野県長野市吉田 5-25-7

木のある暮らし応援企業
認定
マルオカ

TEL: 026-243-1218
担当: 佐藤・新井

令和4年7月にWOOD BUILDING SHOWをエムウェーブで開催

沿革

- 昭和27年05月 長野市にて木材小売の個人商店を創業
- 昭和36年08月 マルオカ木材株式会社を設立
- 昭和43年04月 長野市川合新田に長野センターを設置
- 昭和44年05月 新潟県上越市に上越マルオカを設置
- 昭和47年03月 長野市に建材部門設置
- 昭和48年05月 株式会社マルオカに商号変更
- 昭和49年01月 小諸市に東信営業所を設置
- 昭和50年01月 松本市に中信営業所を設置
- 昭和54年01月 さいたま市に埼玉営業所設置
- 平成03年03月 長野プレカット工場を開設
- 平成06年04月 上越プレカット工場を開設
- 平成24年08月 「信州・絆でつくる優良住宅の会」結成
地域型住宅ブランド化事業に採択される
- 平成24年10月 第1回信州・住まいのわくわくフェア開催
(長野市ビッグハット会場)
- 平成28年05月 第5回信州・住まいのわくわくフェア開催
(長野市エムウェーブ会場)
- 平成30年12月 新潟市に新潟営業所を設置
- 令和元年05月 埼玉営業所新社屋竣工
(木造3階建てトラス工法)
- 令和02年07月 諏訪市に中央営業所を設置



開設当時の長野市川合新田の長野センター（現在は住宅資材センターにリニューアル）



開設当時の埼玉マルオカ周辺（現在の埼玉営業所）



埼玉営業所（さいたま市）

会社概要

資本金 4億300万円
創業 昭和27年5月
設立 昭和36年8月
従業員 153名
事業内容 木材・建材・住設機器・サッシ等の
販売及び施工
木材プレカット・外壁工事・断熱工事
太陽光発電／住宅保証業務取次店

部門・拠点

- 本社
〒381-0043 長野市吉田5丁目25番7号
TEL.026-243-1218 FAX.026-243-1251
- 住宅資材センター
〒380-0913 長野市川合新田802
TEL.026-221-6352 FAX.026-221-6342
- 東信営業所
〒389-0512 東御市滋野字高石乙3303
TEL.0267-22-6381 FAX.0267-22-6395
- 中信営業所
〒399-0004 松本市市場9番4号
TEL.0263-25-9050 FAX.0263-25-9119
- 上越営業所
〒949-3112 新潟県上越市大潟区土底浜2093-1
TEL.025-546-7300 FAX.025-546-7305
- 埼玉営業所
〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町3丁目411
TEL.048-651-0203 FAX.048-651-0259
- 新潟営業所
〒950-0925 新潟市中央区弁天橋通1-28-1
第2原の台ビル2-A
TEL.025-278-7871 FAX.025-278-7872
- 中央営業所
〒392-0131 長野県諏訪市湖南6020-3
TEL.0266-53-3232 FAX.0266-53-3236
- 長野工場（長野プレカット事業所）
〒381-0004 長野市大町浅川原1053-12
TEL.026-295-9155 FAX.026-295-9133
- 上越工場（上越プレカット事業所）
〒949-3112 新潟県上越市大潟区土底浜2093-1
TEL.025-534-2080 FAX.025-534-2533
- 特販工事部
〒380-0913 長野市川合新田802 住宅資材センター内
TEL.026-221-6601 FAX.026-221-8577
- サッシ課
〒381-0043 長野市吉田5丁目25番7号 本社1F
TEL.026-239-6858 FAX.026-239-6852
- 事業推進室
〒381-0043 長野市吉田5丁目25番7号 本社2F
TEL.026-243-1218 FAX.026-243-125

木のある暮らし応援企業



長野工場（長野市）



住宅資材センター（長野市）